

地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金事業 検証結果(平成30年度分)

交付対象事業の名称	事業概要	事業費 (うち交付金充当額) 【単位:円】	重要業績評価指標(KPI)				今後の方針	外部有識者の総評	
			指標名	単位	目標値	実績値			
地方創生推進交付金									
1	稼ぐ力で自立するハイブリッドビジネスサポートシステム構築事業	◆目的 「つくる・加工する」支援のAma-biZと、「売る」支援の天草宝島物産公社の支援を連携させることで、さらなる売上アップにつなげる。 ◆内容 【ニーズ調査等】天草宝島物産公社 ・取引業者と取扱商品等の現状調査を行い、商品毎の売れ行きやニーズを調査。 ・ブラッシュアップが必要な商品や、ニーズが見込める商品等を洗い出す。 【商品力向上】Ama-biZ ・物産公社の情報のもと、中小企業者や生産者とともに商品改良等に取り組む(ブラッシュアップ)。 【売り込み】天草宝島物産公社 ・新たな取引先へ、ニーズに応じた商品売り込む。 ・大市場である関東圏域への売り込みを強化する。	59,668千円 (29,834千円)	天草産品の新規取引業者数	社	60	82	◆事業を継続する。 ・Ama-biZと天草宝島物産公社が連携する形(ハイブリッドビジネスサポートシステム)が構築されたことにより、ほぼ予定どおりの成果を見出すことができているが、更にお互いの組織の強みを生かして、売れる商品の開発及び、市内の生産者・加工業者等と都市部等取引先とのマッチングを推進するため、以下の取り組みによる連携の強化を図る。 ①事務局レベルでの定期的な打合せ会議の開催(月1回程度:無料相談会時に開催) ②物産公社が保有するFCPシート(商品カルテ)及び、FAMツアーの情報提供(必要に応じてツアーへの同行) ③オール天草大商談会を年2回開催し、市内生産者・加工業者等と都市部等取引先とのマッチング作業を継続して行う。	◆「効果的であった」と評価。 ●確実に成果が得られており、素晴らしい ●Ama-biZと物産公社が連携することでかなりの改善した値となっていると思われる。融合することで順調に進んでいるため、今後も更に連携して取り組んでいただきたい。
地方創生拠点整備交付金									
1	観光と漁業の連動で新たな好循環を生み出す天草市イルカセンター整備事業	◆目的 五和町通詞島周辺海域には野生のイルカが生息し、平成5年にイルカウォッチングを開始し、天草を代表する体験型観光となり、多くの観光客が訪れているが、近隣に観光施設等がないため、経済波及効果が発揮できていない。地元二江地区の地域活性化はもとより天草市の観光振興を実現するために、「天草市イルカセンター」を整備する。 ◆内容 【天草市イルカセンター新築】 構造 S造2階建て 延床面積 1,574.24㎡ 敷地面積 2,140.07㎡ 整備概要 ・センター新築 (建築・機械・電気設備工事ほか) ・センター内展示物整備 (イルカと触れ合えるインタラクティブ、イルカ図解展示物、VRシステムによる海中イルカウォッチング、イルカ情報モニター、天草観光情報マップほか)	767,183千円 (383,591千円)	施設利用者数	人	105,000	施設は、令和元年6月に開館したばかりのため、来年度評価実施。		